

📌 今月のポイント

「面倒だ」その気持ち事故の元

～安全運転の基本操作を怠り、自分だけは大丈夫という気持ちをもたらす危険～

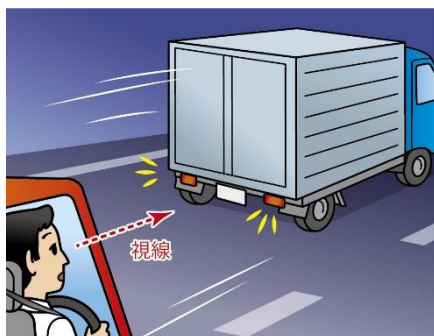
私たちは、毎日なにかと面倒と感じる行為を行っています。とはいえ、それらを面倒がらずに行うことでアクシデントを回避しているのです。自動車の運転にも同じことがいえます。自動車教習所で習得したはずの基本操作を、いつのまにか省略してしまいうことが引き起こす、様々な危険をみていきます。

「面倒」がもたらす危険

一時停止の標識がある交差点に差しかけたとき、完全に停止して安全確認をすることが面倒になり、一時停止を省略する危険があります。とくに、走り慣れた道路では、「いつも交差車両がないから」と考え、一時停止を省略して交差点に進入し、出頭事故を起こす危険があります。



夜間運転や長距離運転で疲れてくると、こまめな目配りで安全確認をすることが面倒になり、漫然と前車に追従して安全確認を前車に任せてしまう手抜き運転となることがあります。このような状態で運転していると、前車が急ブレーキを踏んだときに気づくのが遅れ追突する危険があります。



渋滞している幹線道路を走行していると、ノロノロ運転の面倒から逃れたい気持ちになります。このとき裏道などの抜け道を見つけると、多少リスクはあっても抜け道を選んでしまう危険があります。その結果、飛び出してきた子どもなどと衝突する危険があります。



安全運転アドバイス

一時停止の標識がある交差点に差しかけたときは、たとえ交通量が少なくても、「今日は交差車両があるかもしれない」と考え一時停止しましょう。また、停止線の手前からジリジリ前進して歩行者を不安にさせることのないように、完全に停止しましょう。

安全確認を前車に任せるとい手抜き運転となるため、危険な行為です。とくに夜間運転では、前車のテールランプを頼りに走行していると、「テールランプを見落とさないように」という意識が働き車間距離を詰めてしまい追突の危険が高くなります。安全確認は必ず自分の目で行いましょう。

渋滞に巻き込まれると、「停止」「発進」を繰り返すことになり非常に面倒です。しかし、楽をしようと思って進路変更の際にバイクや自転車等との接触や、裏道などの走行時、「子どもが飛び出してくる」といったリスクがあります。交通事故を起こさないためには、面倒でも抜け道を走行しない「辛抱の運転」が大切です。

【ご参考】弊社のご支援メニュー

<自動車事故防止>

1. 安全運転セミナー（※Web版もあります）
2. ペーパー式適性検査（KM式・DOCCS）
3. PCによる社員安全運転教育（e-ラーニング）・適性診断（e-診断）
4. 自動車事故防止のビデオ・DVDの視聴
5. タブレット端末、スマートフォンを活用した危険予測トレーニングツール（セーフティトレーナー）

<ニュース・チラシの提供>

1. 安全運転のポイント（毎月定例発行の具体的なニュース）
2. 社内講習会用冊子（ザ・メッセージ等）